５月休校中の課題―２年

教科	内容	学習方法とアドバイス	目安時間	提出等
国語	①単元別漢字学習 P2～P17 ②ワーク（新国語の学習）P2～P9	①まず漢字をなぞりながら覚える。その後に丁寧に練習する。 ②P2，3をしっかり読む。P4，5で解き方の練習をする。教科書を見ながらP6～9をやる。	①5時間 ②2時間	①授業で漢字テスト ②提出はしなくてよいが、授業で使用
数学	① リピート P.27～32。 ② 入試問題にチャレンジ	・前回までの課題は終わっているかな？終わっていない人はそちらを優先。 ・毎日やるプリント 20 枚が終わっていない人は始めにそれを１枚やってからリピートをやる。 ・ページ上の例題や教科書を参考にしながら、Ａ問題は必ずやること。できれば、Ｂ問題もチャレンジ！ ・②はチャレンジ問題！提出しなくてよい。	毎日50分	①次回の登校日に持ってくること。
英語	① Bingo ② 教科書の音読 ③ 英語ラボ	① １日１ページ記入する。(No.1-No.7) ② ２年の教科書を音読する。(Prog.1-1～Pro.1-3) ③ 教科書の音読に合わせて１日２ページやる。(p.2-15)	毎日50分	①③を来週の登校日（21日）にチェックします。
社会	①<u>地理の教科書</u> p.142～175 ②<u>地理の完全学習２</u>の p.2～31	①<u>地理の教科書</u>を読み、<u>地理のノート</u>にまとめる。教科書右下にある「説明しましょう」もやってみる。 ②教科書を見ながらで良いので解いてみる。丸付け、直しもする。	①1日見開き1ページ ②同上	①② 最初の授業で提出。
理科	① 理科の学習	① 教科書を読みながら、１日２ページやる。 （p 12～21）	毎日50分	①を来週の登校日（21日）にチェックします。
音楽	① 校歌の練習 ② 音楽プリント２年-1	① 学校のホームページに校歌の音源を載せてもらいました。音源を聴きながら、声出しをしてみてください。 ② 音符休符記号の練習です。教科書P. 84を見ながらやりましょう。	① ２時間 ② １時間	初回授業
美術	果物もしくは野菜とコップを組み合わせての鉛筆デッサン	自宅にある果物か野菜１つと、コップを組み合わせてデッサンをしましょう。昨年度のデッサンを思い出し、頑張って本物に近づけるよう頑張りましょう。 プリントや資料集も参考にしてください。 ２つのモチーフは、必ず机など平らな場所に置いてください。	３時間	初回授業
保体				

技術・家庭	技術：生物育成分野 プリント１枚	プリントに記載してある注意事項に従って、教科書を参考に取組む。	1,2 時間	来週以降 配信で連絡
学年				

★登校日には課題についての質問ができます。

家庭学習の取り組み方

必ず読んで、実行しよう！！

1、毎日学習する習慣をくずさないようにしよう

この課題は学校の授業の代わりに取り組むものです。早めに課題を終わらせようというのではなく、平日は授業があるつもりで必ず毎日学習に取り組んでください。

普段通りに起床し、学校の授業があるつもりで８：４５から机に向かうようにしましょう。５０分集中して取り組み、１０分休憩するリズムで行うとよいでしょう。

2、1日50分×5時間は学習しよう

一つの教科をまとめて学習するのではなく、学校の時間割のように１日で数教科に取り組めるように、１週間の時間割を自分で作成しましょう。

★週当たりの教科の時間数

	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保体	技家
１年	4	3	4	3	4	1.5	1.5	3	2
２年	4	3	3	4	4	1	1	3	2
３年	3	4	4	4	4	1	1	3	1

もちろん普段のように、夕方から夜の家庭学習も継続すること。

★その他の家庭学習例

・その日の予定の課題のやり残しをやる。

・問題集などで間違えたところをもう一度やる。

・課題の先の範囲の教科書を読んだりワークを進めたりする。

3、集中できる環境を作って学習しよう

学校の教室と同じように周囲は勉強道具だけにして学習に取り組みましょう。その時間は漫画、テレビ、携帯電話〔スマホ〕、ゲーム等は絶対に見ないというルールを自分で決めることが大切です。そのためにも集中力が途切れてしまうものは近くに置かずに学習に集中できる環境を作りましょう。

寝ていた時の服装ではなく、学習を始める前にきちんと着替えることも大切です。七中の制服やジャージを着て勉強するのもよいでしょう。

4、必ず課題すべてに取り組もう

全員がこれらの学習をすべて終了させていることを前提に、６月から新学年の学習が始まるので、必ず取り

組んでください。課題の確認テストも行う予定です。ただし、教科書を見たり調べたりしてもわからないところがあった場合は、授業が始まってから質問ができるので、安心してください。メモをしておきましょう。

その他

前年度の教科書, ノート, ワーク等（返却されたものも含め）は、今後も学習に使用するので、絶対に捨てないようにしてください。